

# 2018年度シラバス

開講時期	1年次通期		開講区分	留学生
科目名称	比較文化論			
担当講師	津山 隆雄	補助講師	—	
開講曜日	木	時限	1	
単位数	4	週時間 (45分)	2	
取得を目指す資格	必須	—		
	推奨	—		
授業概要・到達度目標	<p>皆さんの日本での活躍ぶりは、日本語の能力如何にかかっています。比較文化論では、日本人のものの見方・考え方を中心に学びます。実際に声を出し、頭を使いながら日本語を学びます。つまり全身全霊で、読解・聴解・意見交流等に挑みます。その挑戦は全て皆さんの夢の実現のための道に繋がっています。</p>			
授業計画	4月	調音練習、早口言葉、側縁練習。教材をもとに読解・聴解・		
	5月	意見交流等に取り組みます。		
	6月	教材の読解をもとにして、自分自身の経験と照らしあわせます。意見交流しながら聴解能力を高めます。この過程から自分の主張が生まれてきます。そのことが、小論文を書く土台となっています。		
	7月	夏休み		
	8月	前期の流れを一層進化させます。教材は少しずつ難しくなり、読み応えが出てきます。従って、聴解・意見交流等にも時間を要するこよになります。		
	9月	この時期になると日本語におけるコミュニケーション能力もかなり高いものになってきているはずですが、それに見合った教材をもとに自分の考えを主張する場を多く取り入れます。		
	10月	コミュニケーション能力を通して、自他の交流を深めます。		
	11月	春休み		
	12月	春休み		
	1月	春休み		
使用するテキスト	<p>別途授業で配布する資料を使用します。生徒は教材を整理して大切に保管してください。復習。前期後期試験の時に大いに役立ちます。</p>			
成績評価	<p>出席率70%以上・授業態度・提出物・前期後期試験の結果により総合的に判断します。</p>			
講師からのメッセージ	<p>比較文化論では日本の文化を中心に学んでいきますが、それは日本語の能力を高めるためのものです。「実際に声を出すこと、日本語で表現しようと挑戦すること」を大切にしていきます。意思疎通のための手段としての日本語に親しみ、語彙を増やしていくことが、皆さんの目標に大きな支えになるはずです。</p>			